

癌種	プロトコル名	レジメン内容	注意事項	催吐リスク	Nk1受容体拮抗薬	内服デカドロン
食道癌	CDDP+5-FU (食道癌)	シスプラチン注 80mg/m ² 2時間点滴 day1 5-FU注 800mg/m ² 24時間持続点滴 day 1~5 【1コース4週】		高度	◎ (注射：アロカリス)	8mg/day2-5
食道癌	CDDP+5-FU (食道癌NAC)	シスプラチン注 80mg/m ² 2時間点滴 day1 5-FU注 800mg/m ² 24時間持続点滴 day 1~5 【1コース3週】 2コース		高度	◎ (注射：アロカリス)	8mg/day2-5
食道癌	CDGP+5-FU	アクブラ注 90mg/m ² 点滴 day 1 5-FU注 800mg/m ² 24時間点滴 day 1~5 【1コース 4週】		中等度	◎ (注射：アロカリス)	4mg/day2-5
食道癌	CDGP+DOC	ドセタキセル注 30mg/m ² 点滴 day 1 アクブラ注 40mg/m ² 点滴 day 1 【1コース2週】	アルコール過敏の有無を確認すること	中等度	◎ (注射：アロカリス)	4mg/day2-4
食道癌	分割DCF療法 (食道癌)	ドセタキセル注 30mg/m ² 1時間点滴 day1・15 シスプラチン注 80mg/m ² 2時間点滴 day1 5-FU注 800mg/m ² 24時間持続点滴 day 1~5 【1コース4週】		高度	◎ (注射：アロカリス)	4mg/day2-5
食道癌	triDOC (食道癌)	ドセタキセル注 70mg/m ² 点滴 day 1 【1コース3週】	アルコール過敏の有無を確認すること	軽度		
食道癌	wPTX(食道癌)	パクリタキセル注 100mg/m ² 点滴 day 1.8.15.22.29.36 【1コース7週】	アルコール過敏の有無を確認すること PVCフリー/0.22μ以下のインラインフィルターを使用	軽度		
食道癌	ニボルマブ (2週間隔) (食道癌)	オプジーボ注240mg 点滴 day1 【1コース2週】	PVCフリー/0.22μ以下のインラインフィルターを使用 免疫関連の副作用チェック重要！	最小度		
食道癌	ニボルマブ (4週間隔) (食道癌)	オプジーボ注480mg 点滴 day1 【1コース4週】	PVCフリー/0.22μ以下のインラインフィルターを使用 免疫関連の副作用チェック重要！	最小度		
食道癌	ペムブロリズマブ+FP (1~6クール用)	キイトルダ注：200mg/body day1 シスプラチン注：80mg/m ² day1 フルオウラシル注：800mg/m ² day1-5 【1コース3週】	PVCフリー/0.22μ以下のインラインフィルターを使用する 免疫関連の副作用チェック重要！	高度	◎ (注射：アロカリス)	

食道癌	ペムブロリズマブ+FP (7クール以降)	キイトルダ注：200mg/body day1 フルオウラシル注：800mg/m2 day1-5 【1コース3週】	PVCフリー/0.22μ以下のインラインフィルターを使用する 免疫関連の副作用チェック重要！	軽度	◎ (注射：アロカリス)	4mg/day2-5
食道癌	ニボルマブ+FP	オプジーホ注：480mg/body day1 シスプラチン注：80mg/m2 day1 フルオウラシル注：800mg/m2 day1-5 【1コース4週】	PVCフリー/0.22μ以下のインラインフィルターを使用する 免疫関連の副作用チェック重要！	高度	◎ (注射：アロカリス)	
食道癌	biweekly ニボルマブ + イピリムマブ	オプジーホ注 240mg/body 2週間毎 ヤーボイ注 1mg/kg 6週間毎	PVCフリー/0.22μ以下のインラインフィルターを使用する 免疫関連の副作用チェック重要！	最小度	◎ (注射：アロカリス)	
食道癌	triweekly ニボルマブ + イピリムマブ	オプジーホ注 360mg/body 3週間毎 ヤーボイ注 1mg/kg 6週間毎	PVCフリー/0.22μ以下のインラインフィルターを使用する 免疫関連の副作用チェック重要！	最小度	◎ (注射：アロカリス)	